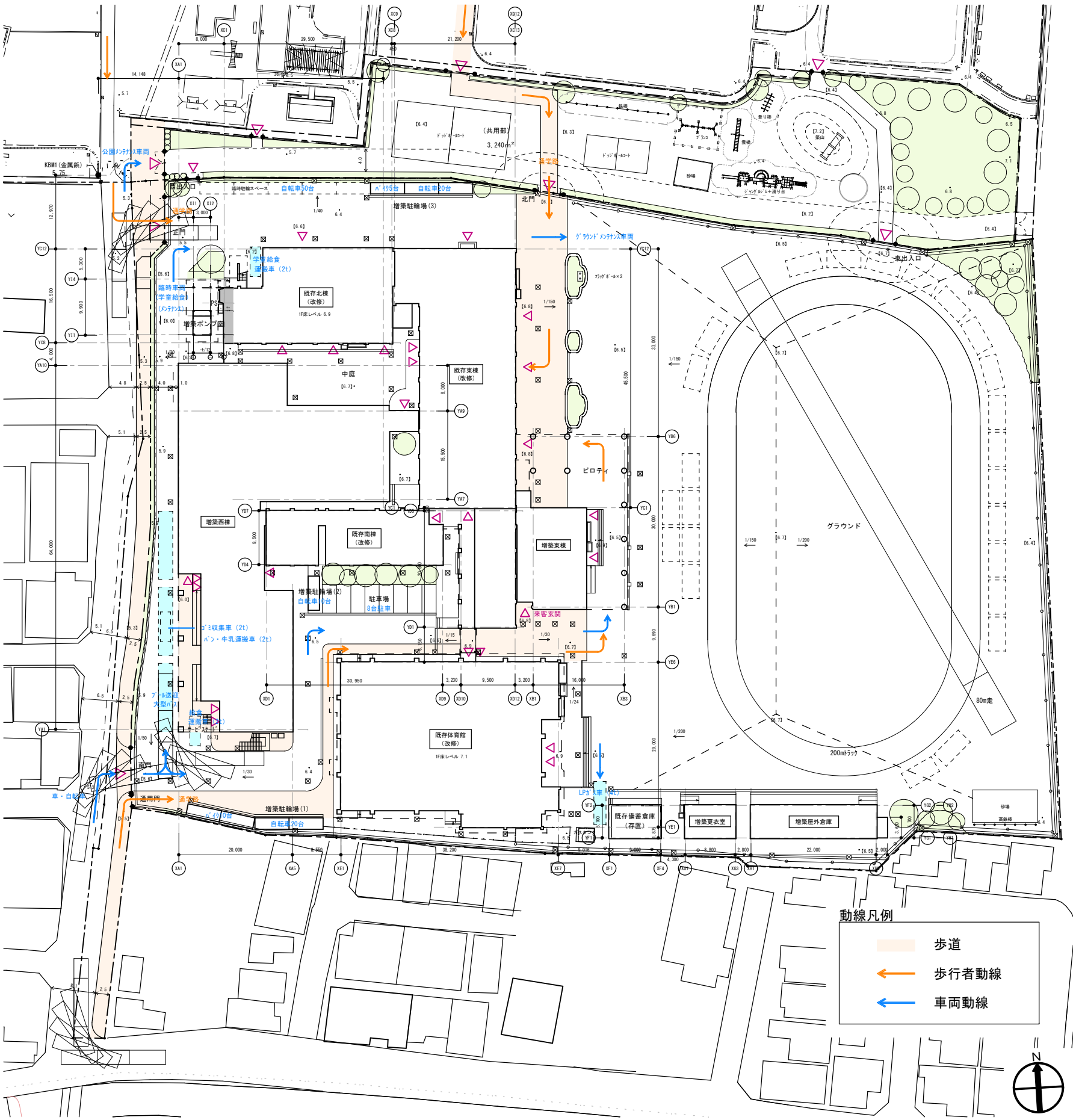


第3章 建築計画

1. 配置計画

- 敷地西側道路拡幅・歩道整備
 - ・敷地西側の道路拡幅・歩道整備により、子どもたちの登下校の安全確保し、対面する民家の環境に配慮します。
- 敷地内サービスヤード
 - ・車両動線の主要な進入口となる南門に近接してサービスヤードを設け、サービス車両やプール送迎バスなどは敷地内で旋回し、通学のみならず近隣住民の安全も守ります。
- 緩衝緑地
 - ・西側民家の環境に配慮し、緩衝緑地を設けます。
- 駐車場・駐輪場
 - ・駐車場(8台)、教職員駐輪場(自転車30台、バイク10台)、来客用駐輪場(自転車20台、バイク5台)、臨時駐輪場スペース(屋根なし)(自転車50台)を設けます。
- 動線計画
 - ・児童生徒の通学動線と、パン・牛乳運搬車・プール送迎バス・ごみ収集車などのサービス動線が交錯しないよう、敷地南側には通用門と敷地内歩道を設け、歩車分離の計画とします。
 - ・昇降口、来客・職員玄関、来客(業者用)玄関、学童・地域玄関など目的別のエントランスを設け、来校者がスムーズに利用できる動線計画とします。
 - ・ガス供給車、救急車、メンテナンス車などグラウンドに寄り付けるよう、正門からグラウンドまでの車両動線を確保します。
- 共用グラウンド
 - ・北条公園の敷地南側を共用グラウンドとし、平日は学校、休日は公園の利用を可能とします。共用グラウンドには、遊具、植栽、ドッジボールなどのできるグラウンド舗装部分を設け、前期課程児童の利用を想定したしつらえとします。



配置図 S=1/800

2. 各階平面計画

9学年が集う義務教育学校の特性を最大限生かすことができ、かつ教育カリキュラムの変化や進展に柔軟に対応できるよう、コの字型であった既存校舎に増築校舎をつなげて回廊型として回遊性をもたせ、児童・生徒が学年を超えて共に学べる空間をつくります。

1 階平面図

■ 地域活動など

- ・北棟に地域連携室、児童クラブなどを集約し、開校日以外にも地域の活動がスムーズに運営できるように配慮します。
- ・共用グラウンド、北条公園とのつながりを大切にするため、北側に向けて開口部を設け、子どもたちの見守り活動にも寄与します。

■ 中庭

- ・日中は、図書メディアと多目的室、昇降口を回遊できるようにウッドデッキを設けます。
- ・放課後は児童クラブの遊び場として、児童クラブから直接出入りができるようにします。

■ 地域の防災拠点として

- ・災害時避難場所に指定されている大アリーナを中心に、屋外更衣室、多目的室(被服)、会議室(1)、保健室(1)も利用できるよう、また災害の程度に応じて、1階の特別教室なども利用できるよう想定します。

■ 動線計画

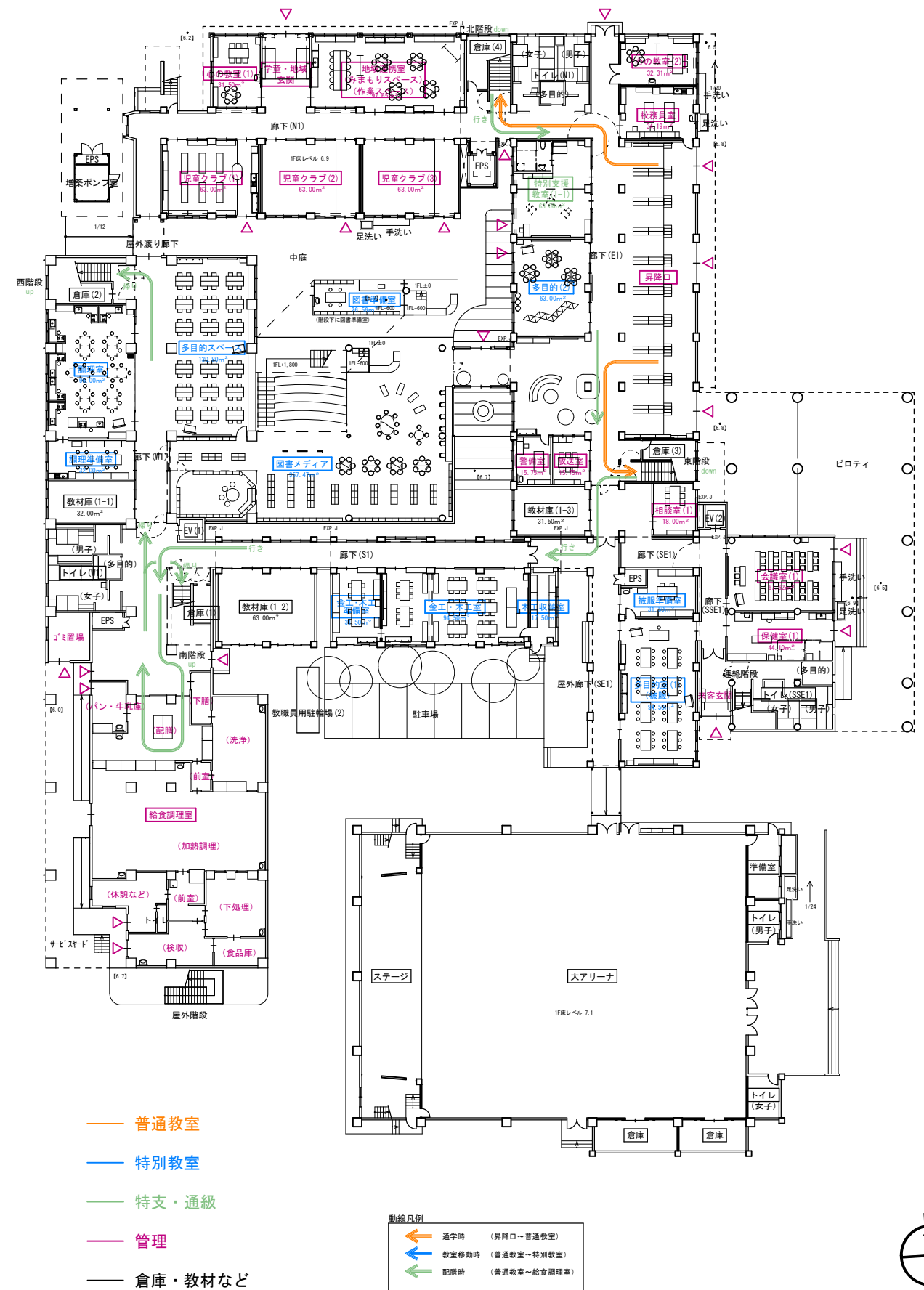
- ・北階段、東階段、南階段、西階段の計4か所の回廊隅にある屋内階段によって、通学、教室移動、給食配膳時の動線を分散する計画としています。また、新棟(東)の連絡階段(屋内)によって、3階小アリーナの地域利用、2階職員室への通用動線を可能にしています。
- ・給食配膳時の経路は一筆書きとなるように計画し、安全に給食運搬ができるようにします。

■ 学校の核となる図書メディア

- ・調べもの学習、探究学習の場となる図書メディアは校舎の中心に配置し、全児童・生徒がアクセスしやすいものとします。発表の場となる大階段も図書メディア内に設け、仲間とともに学びを深めることを可能にします。

■ ピロティ

- ・雨天時、真夏の日差しを遮りたい時などの屋外活動を可能にします。
- ・会議室(1)、保健室(1)はピロティに面した屋外出入口を設け、屋外活動をサポートする場所としての利用を可能にします。



■ 教職員のつながり

- ・グラウンドや昇降口などを見守りやすく、各教室への移動がスムーズにできる中間階(2階)に職員室を配置し、子どもたちが安全に過ごすため、どの場所へも駆け付けやすい動線とします。
- ・保健室、相談室なども職員室近くに設け、教職員がチームとなって児童・生徒を支えていける管理諸室の配置とします。

- ・職員室に近いCRを1・2年生

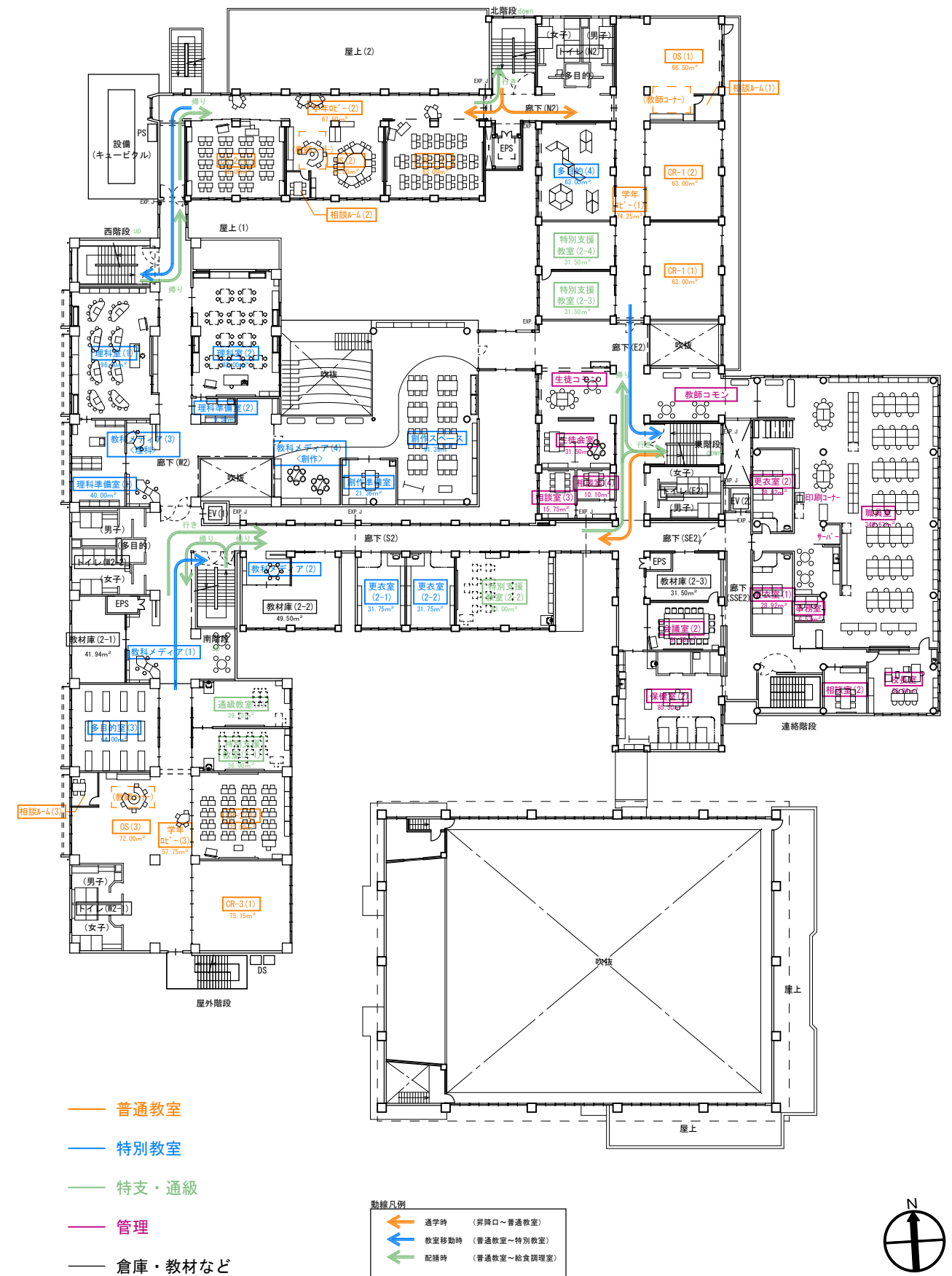
- ・職員室に近いCRを1・2年生の利用と想定し、手洗いの高さ等に配慮します。
- ・CR、オープンスペース（OS）、学年ロビー、相談スペースで学年ユニットを形成し、様々な学習形態を実現するとともに、他学年が学年ユニットを通過することなく、特別教室などへ移動できるよう、配慮します。
- ・各階（2～4階）、CRは3教室ずつとし、校舎全体の人口密度に偏りがないようにします。
- ・CRの近くに特別支援教室を設け、相互の行き来が容易になるようにします。

- ・子どもたちが自発的

- ・子どもたちが自発的に学びを深められるよう、教材や関連書籍を展示できるスペースを廊下の一区画に設け、学びに出会うきっかけを増やすように教科メディアを配置します。

- ・図書メディアの上階は創作スヘ

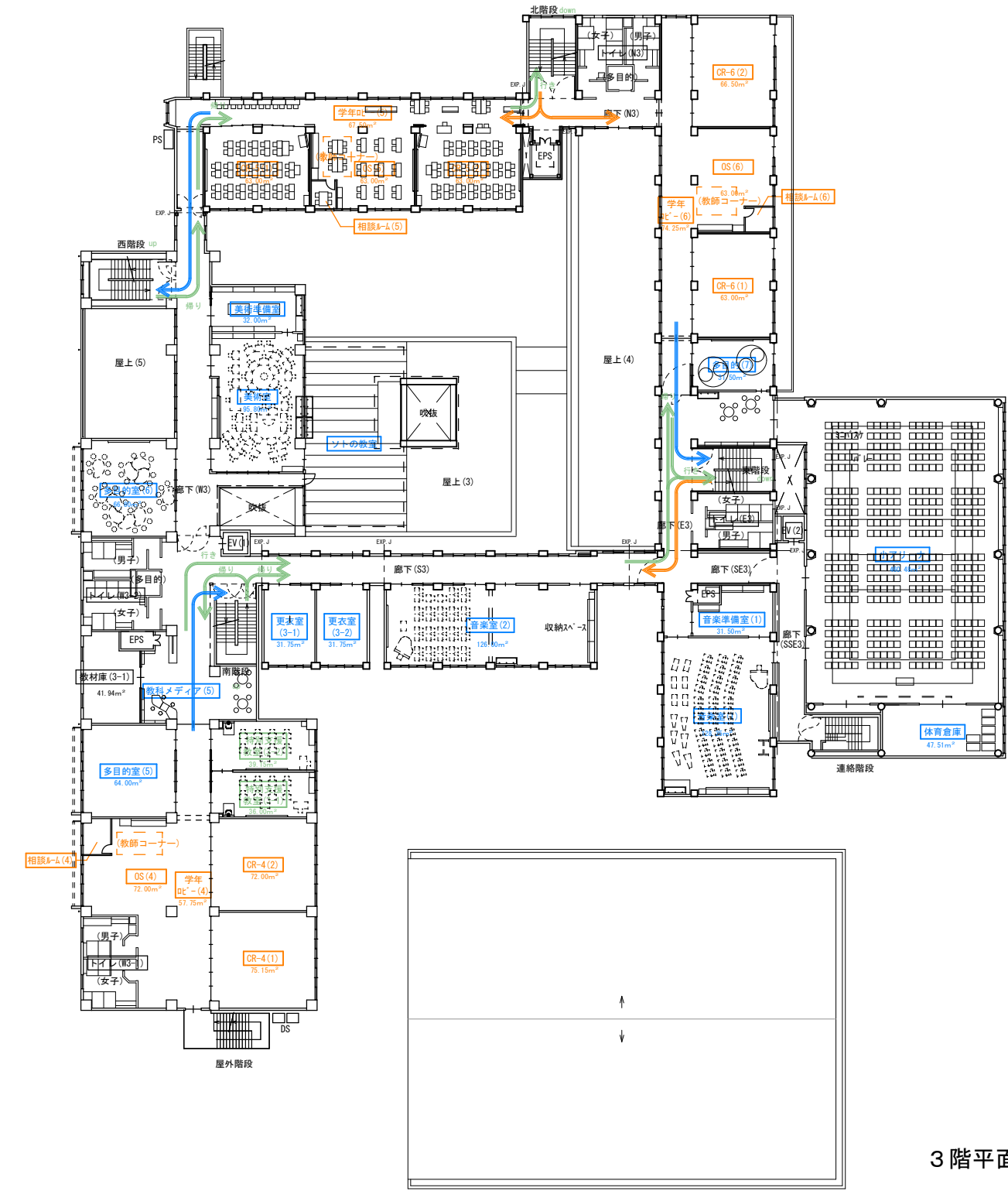
- ・図書メディアの上階は創作スペースとし、工作や発表のための資料づくりなど、自由に取り組めるスペースを設けます。



3階平面図

■ 小アリーナの活用

- ・職員室の上階に小アリーナを設け、体育の授業や講演会、学年集会など、さまざまな活動での利用を想定します。
- ・音楽室(1)と小アリーナは廊下を挟んで隣接させ、太鼓や楽器など大きいものの出し入れが難しくないようにします。

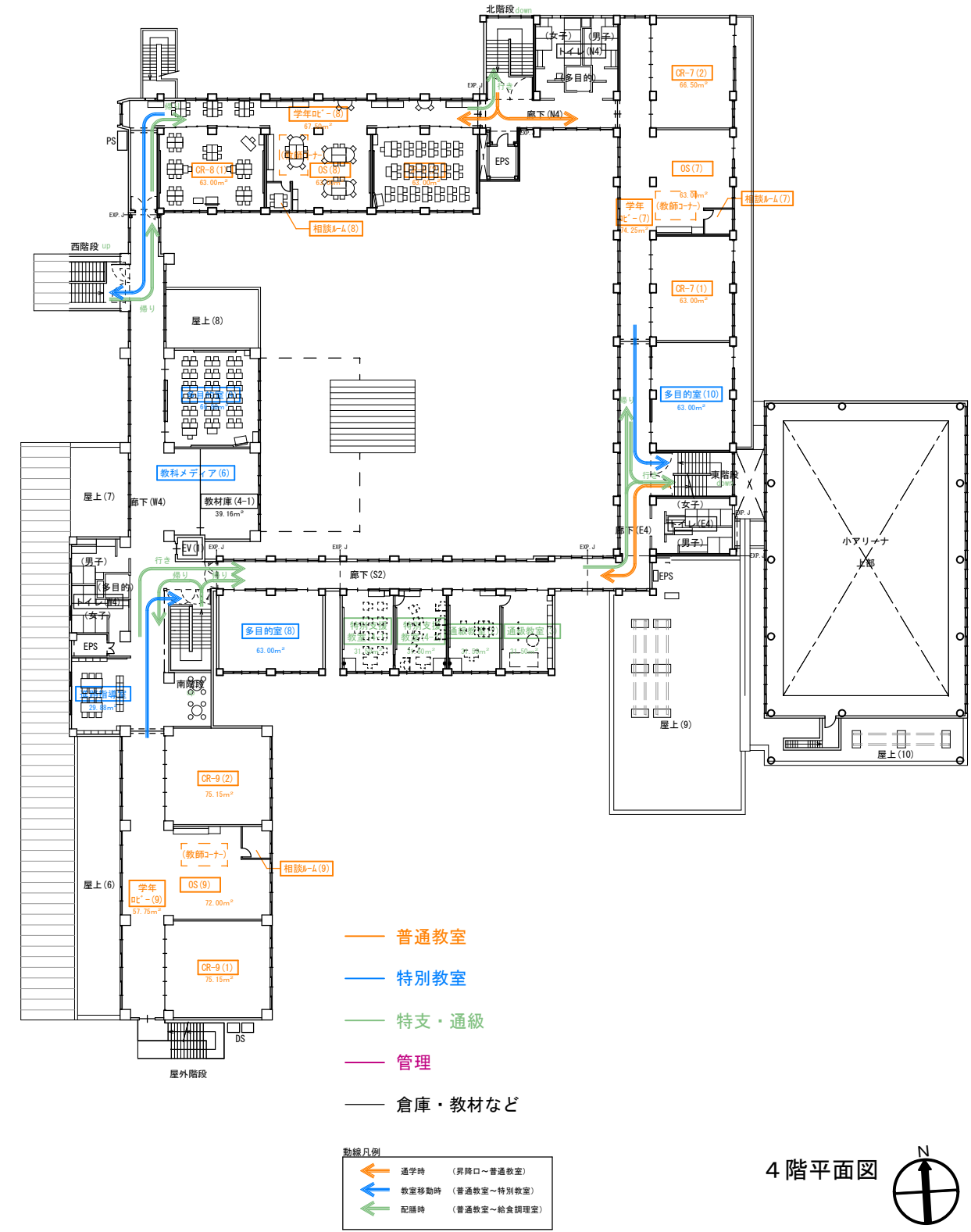


3階平面図

4階平面図

■ 静寂を必要とする教室の配置

- ・多目的室(9)は防音仕様とし、同階の近くに騒がしい教室を配置することを避けます。英語のヒアリングや視聴覚室としての利用を可能にします。
- ・進路指導室と廊下の間には扉を設けず、身近に触れられる進路のための資料を掲示できるスペースを設けます。



4階平面図